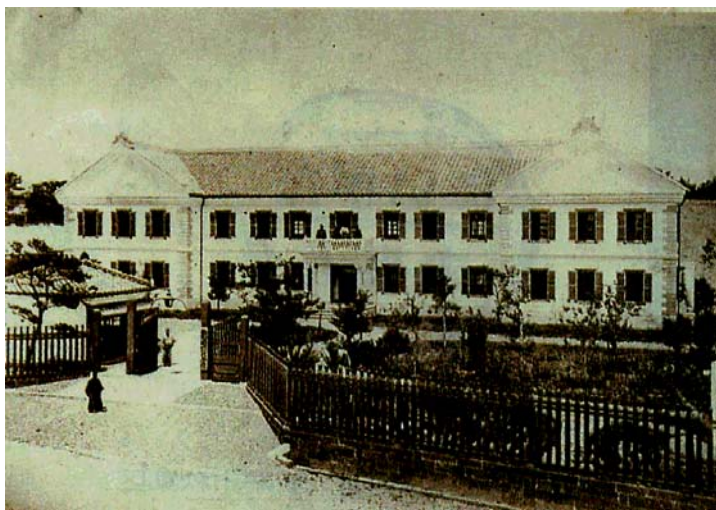


新潟大学教育学部の特徴と魅力



伝統ある教員養成の歴史と実績 —最初の師範学校7校のひとつ—

文部省は、明治5年（1872）以降、東京・大阪・宮城・愛知・広島・長崎・新潟（各大学区の中心地）に師範学校を設置しました。新潟大学教育学部は、この全国に僅か7校しか設置されなかった官立（国立）の新潟師範学校を起源としています。その後、今日まで県内外に多くの教員を養成してきた伝統と実績があります。

官立新潟師範学校（新潟日報より）

総合大学のなかの教員養成 —多様な研究と教育との交流—

新潟大学は、教育学部を含めて、9学部（人文学部 経済学部 法学部 理学部 農学部 工学部 医学部 歯学部）を有する総合大学です。総合大学で学ぶことは、他学部の研究や教育にも直接触れることができます。副専攻プログラムなど、そのためのカリキュラムも用意されています。

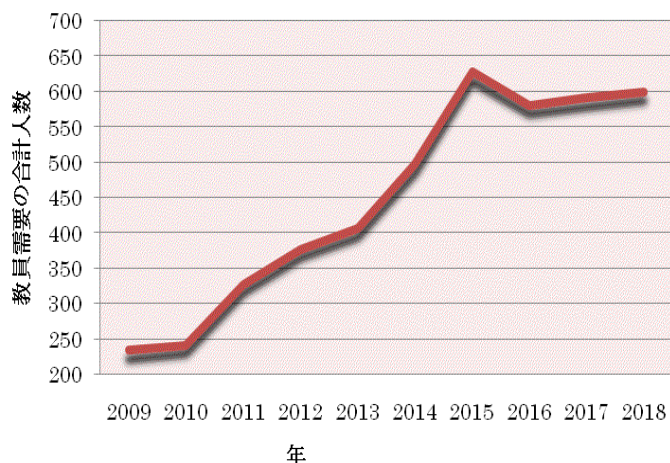
教育実習の様子



増加する新潟県の教員需要

今後新潟県の教員需要は大幅な増加傾向が予想されています。このことは、教員を志望する学生にとっては、大きなチャンスといえるでしょう。教員採用試験の対策講座も開催して、積極的に支援しています。

今後の新潟県の教員需要予測のグラフ



大規模大学の魅力 —多様な交流と活動—

新潟大学は、学部・大学院あわせて、1万2000名もの学生が在籍する大規模大学です。研究・教育以外にもダブルホーム制度などで他学部の学生や教員との交流ができ、またアメリカンフットボール部、ボート部、馬術部、オーケストラ、ボランティアサークルなど多種多様なクラブ・サークル活動も活発に行われています。

体操部



政令指定都市のキャンパス

—交通や生活の利便性—

キャンパスのある新潟市は、日本海側で唯一の政令指定都市で、発達した商業の中心地でもあり、また新潟空港、上越新幹線をはじめ、港や高速道路など交通のアクセスもよく、帰省や就職活動に便利です。

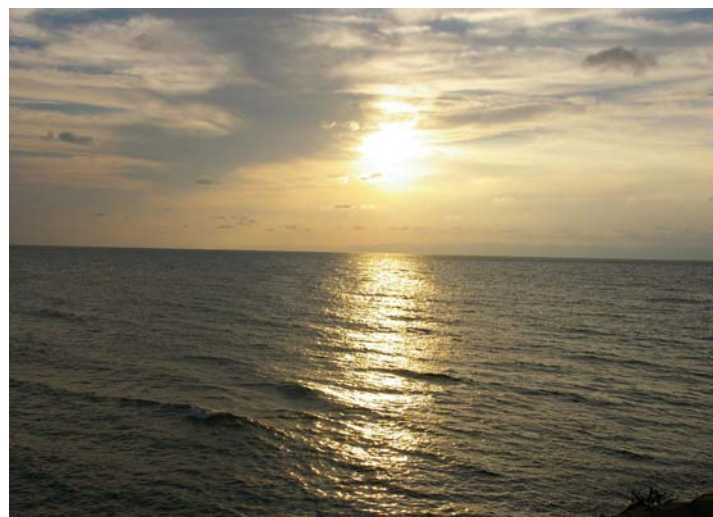
市内を流れる信濃川と萬代橋

豊かな学習環境

教育学部のあるキャンパスには、広く様々な設備も整っており、二度の地震の影響も全くありませんでした。

また、海に近く、校舎からは日本海に沈む夕日を眺めることができます。この環境を活かして、水泳実習や県内でのスキー実習も行われています。

日本海に沈む夕日



多様な進路 —民間や公務員—

教育学部には、学校教員養成課程の他、学習社会ネットワーク課程、生活科学課程、健康スポーツ科学課程、芸術環境創造課程などの課程があり、教員以外の資格も取れ、民間企業や公務員を目指す多様な人材を養成しています。企業へのインターンシップ活動や公務員対策・就職対策の講座を行うなど、就職活動を支援する体制をとっています。

就職を支援するキャリアセンター

